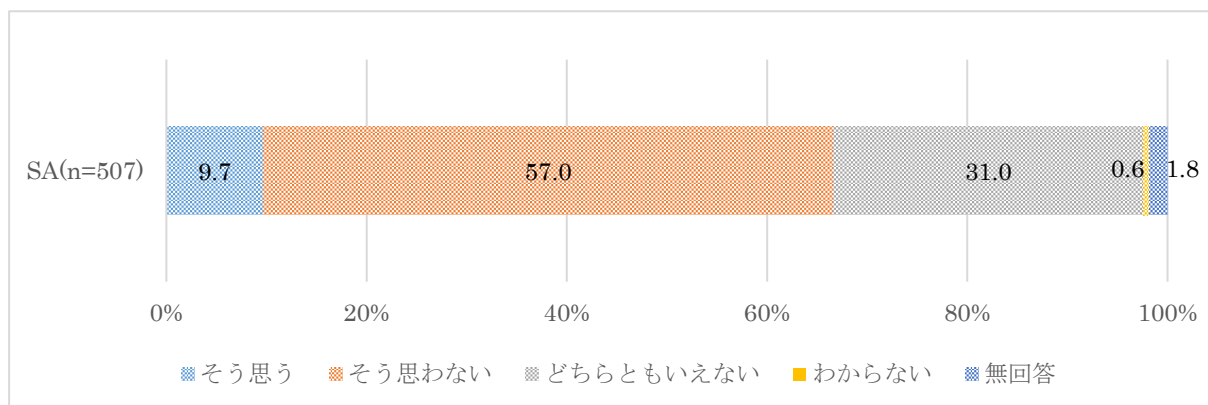


## 4 男女の生き方や家庭生活などに関する意識について

### (1) 性別役割分担意識についての考え方

問5 「男性は仕事，女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

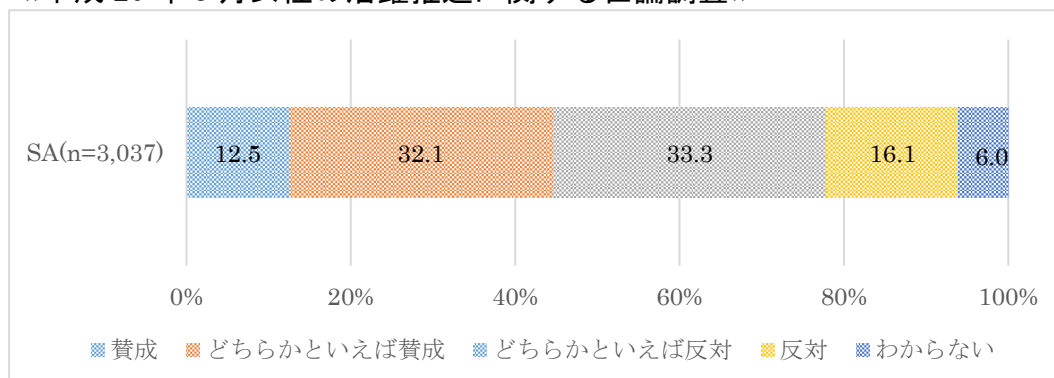


◆「男性は仕事，女性は家庭」という考え方については，概ね1割が「そう思う」と答え，6割弱が「そう思わない」と答えている。

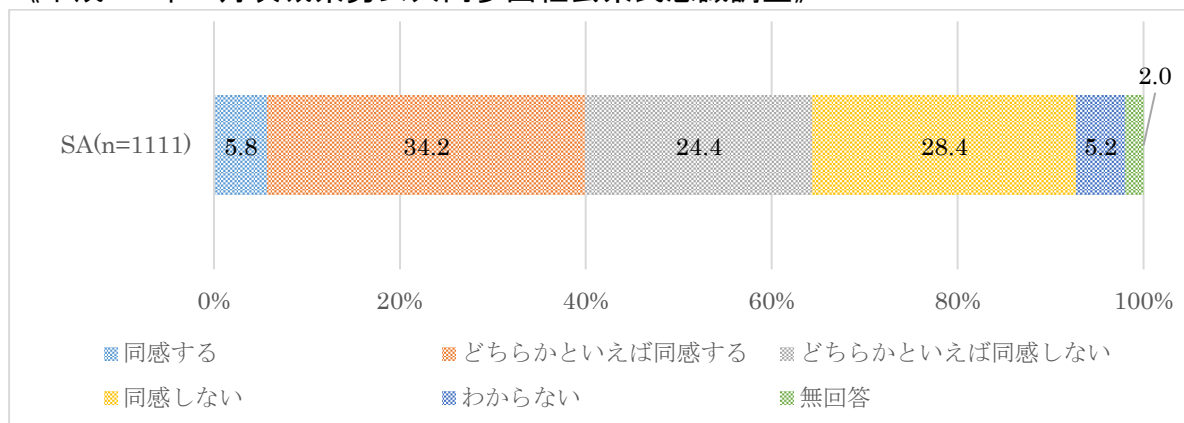
固定的な性別役割分担意識についての考え方については，57.0%の方が「そう思わない」と回答している。

※参考

《平成26年8月女性の活躍推進に関する世論調査》



《平成 27 年 2 月茨城県男女共同参画社会県民意識調査》



【各属性別】

		そう思う	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
性別	男性 (n=190)	13.7%	55.8%	28.4%	1.1%	1.1%
	女性 (n=314)	7.0%	57.6%	32.8%	0.3%	2.2%
年齢別	20～24歳 (n=21)	0.0%	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%
	25～29歳 (n=37)	8.1%	64.9%	24.3%	2.7%	0.0%
	30～34歳 (n=32)	9.4%	59.4%	28.1%	0.0%	3.1%
	35～39歳 (n=46)	19.6%	41.3%	37.0%	0.0%	2.2%
	40～44歳 (n=50)	8.0%	58.0%	32.0%	0.0%	2.0%
	45～49歳 (n=43)	9.3%	62.8%	25.6%	2.3%	0.0%
	50～54歳 (n=38)	7.9%	47.4%	39.5%	0.0%	5.3%
	55～59歳 (n=55)	1.8%	67.3%	29.1%	1.8%	0.0%
	60～64歳 (n=65)	9.2%	64.6%	26.2%	0.0%	0.0%
	65～69歳 (n=62)	9.7%	54.8%	32.3%	0.0%	3.2%
70歳以上 (n=58)	17.2%	46.6%	32.8%	0.0%	3.4%	

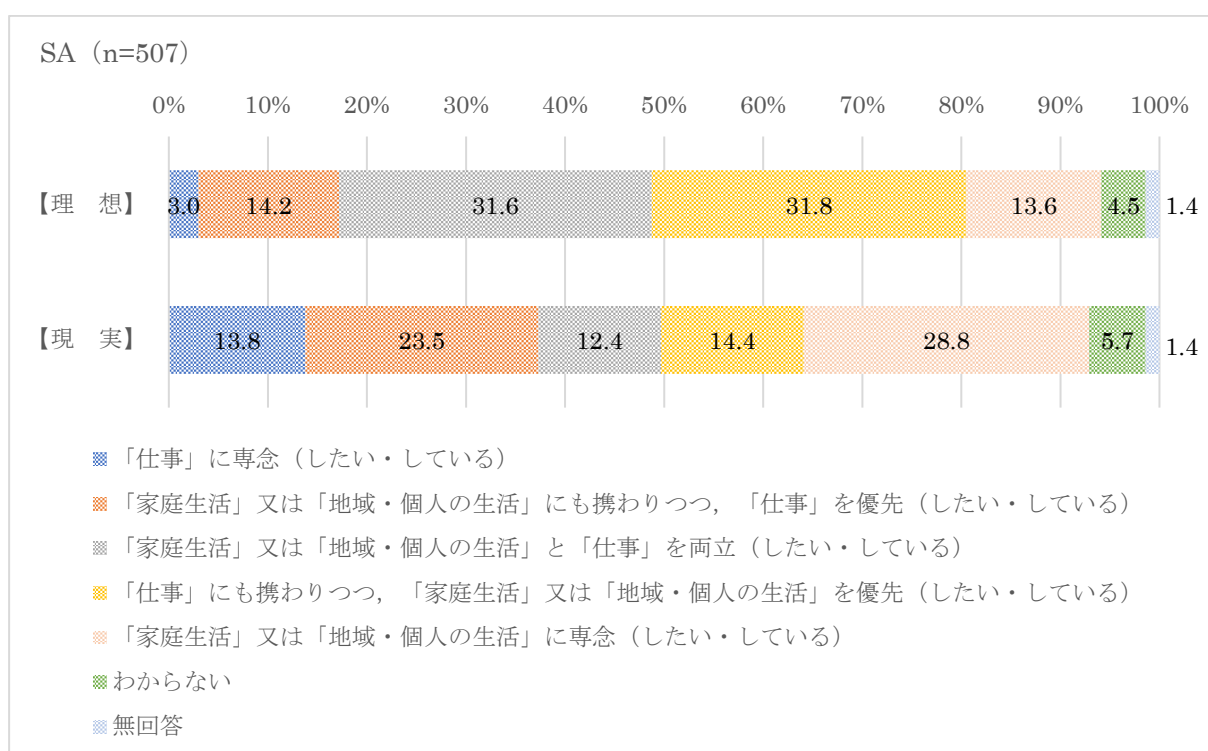
男女別では、「そう思う」が男性 13.7%、女性 7.0%で、男性が女性を 6.7%上回った。

年齢別では、「そう思う」は、30代後半で 19.6%、70歳以上で 17.2%で、わずかではあるが他の年代よりも高かった。

## (2) 仕事と生活の調和

問6 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの理想と現状についてお答えください。

「仕事」：自営業（農林漁業を含む）、家族従業（家業の仕事）、常勤、パートタイム、アルバイトなどを問いません。  
 「家庭生活」：家族と過ごすこと、家事、育児、介護・看護など。  
 「地域・個人の生活」：地域活動（ボランティア活動、地域のつきあいなど）、学業、趣味・娯楽スポーツなど。

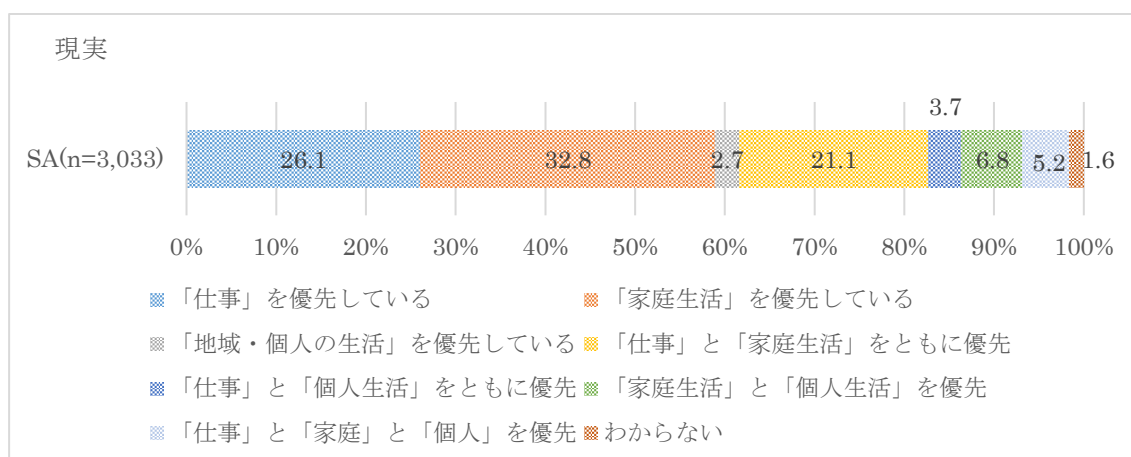
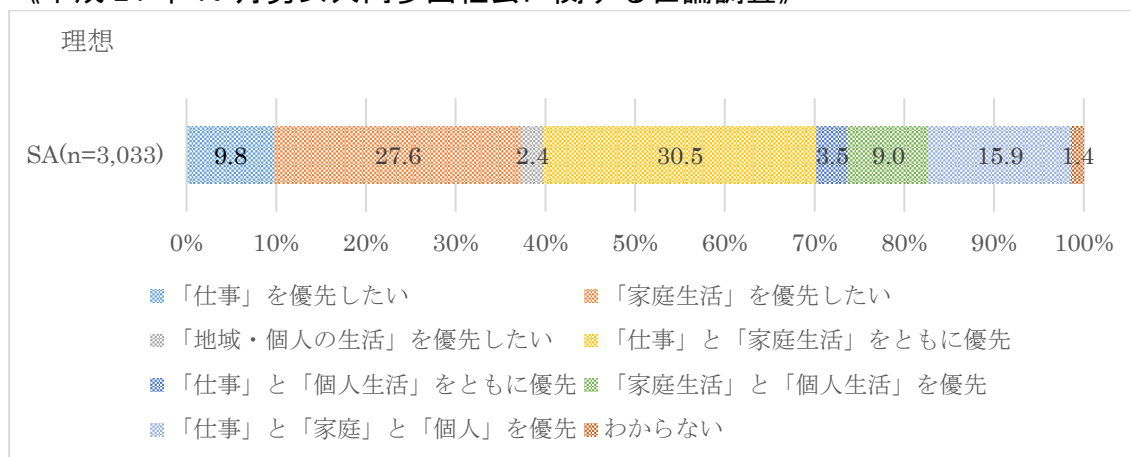


◆ 理想では、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』と『仕事』を両立したい、『仕事』にも携わりつつ、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』を優先したいが概ね3割であったが、現実では、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』に専念しているが3割弱、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』にも携わりつつ、『仕事』を優先しているが概ね2割であった。

理想では、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』と『仕事』を両立したいが31.6%，『仕事』にも携わりつつ、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』を優先したいが31.8%が高かった。一方で、現実には、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』に専念しているが28.8%，『家庭生活』又は『地域・個人の生活』にも携わりつつ、『仕事』を優先しているが23.5%であった。

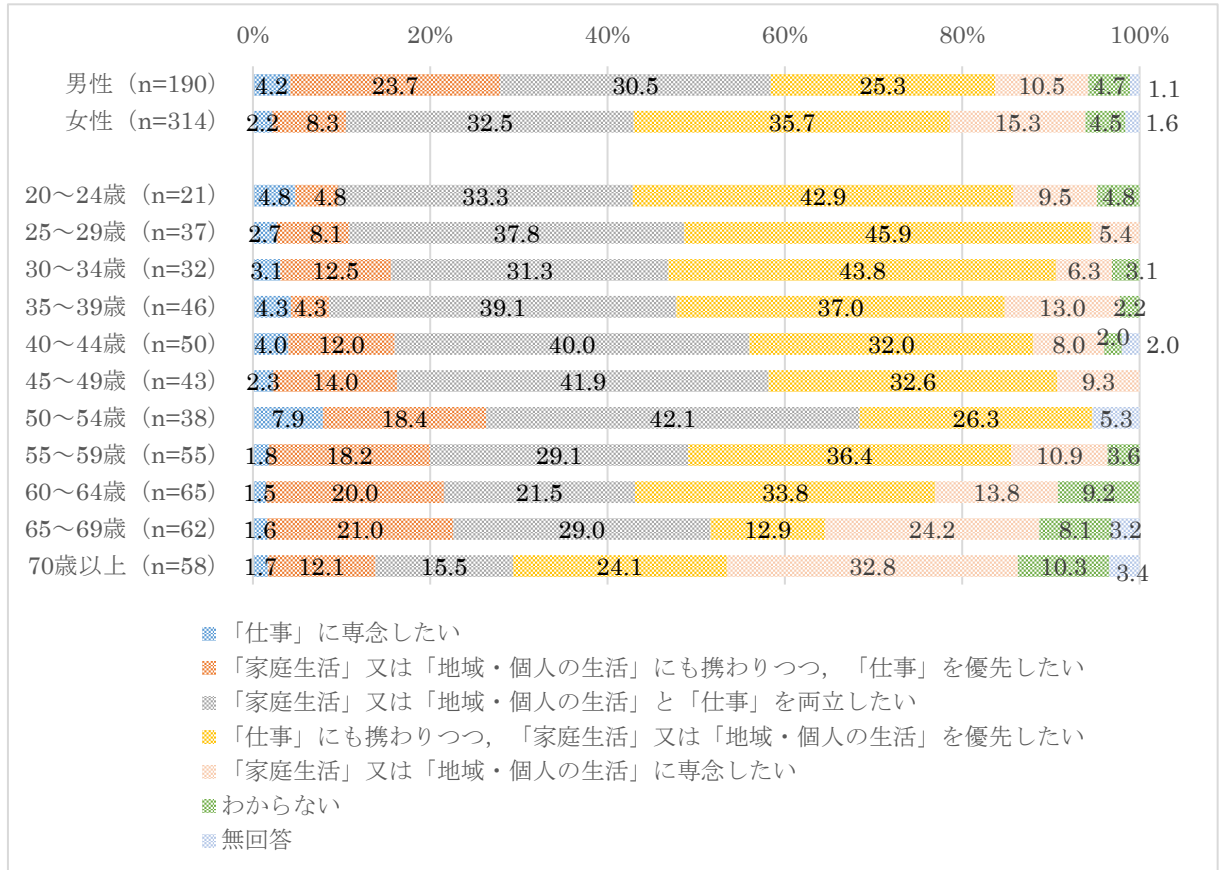
※参考

《平成24年10月男女共同参画社会に関する世論調査》

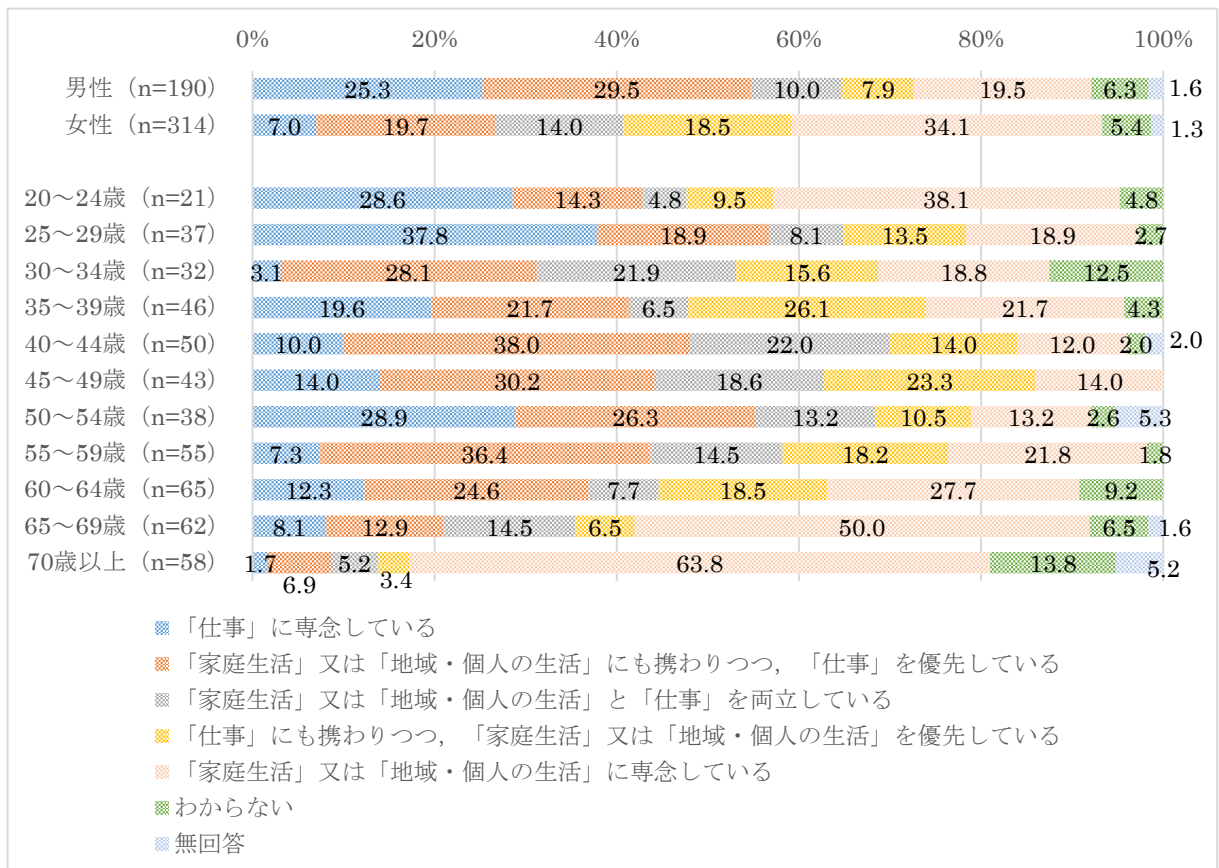


## 【各属性別】

### <理想>



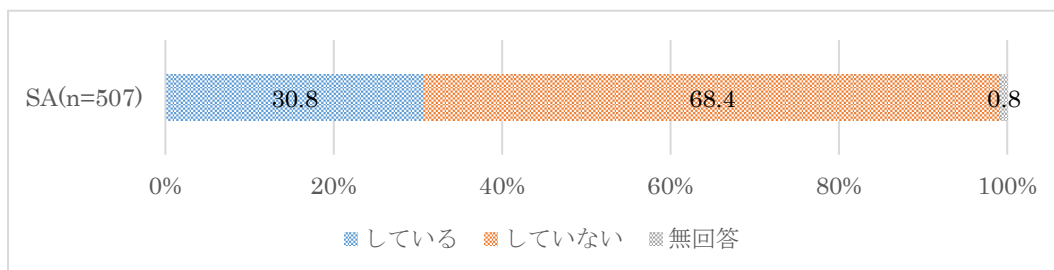
### <現実>



男女別では、男性は、理想では『家庭生活』又は『地域・個人の生活』と『仕事』を両立したい」が30.5%で最も高くなっているが、現実では『家庭生活』又は『地域・個人の生活』にも携わりつつ、『仕事』を優先している」が29.5%で、次いで『仕事』に専念している」が25.3%となっている。女性は、理想では『仕事』にも携わりつつ、『家庭生活』又は『地域・個人の生活』を優先したい」が35.7%で最も高く、次いで『家庭生活』又は『地域・個人の生活』と『仕事』を両立したい」が32.5%であったが、現実では『家庭生活』又は『地域・個人の生活』に専念している」が34.1%であった。

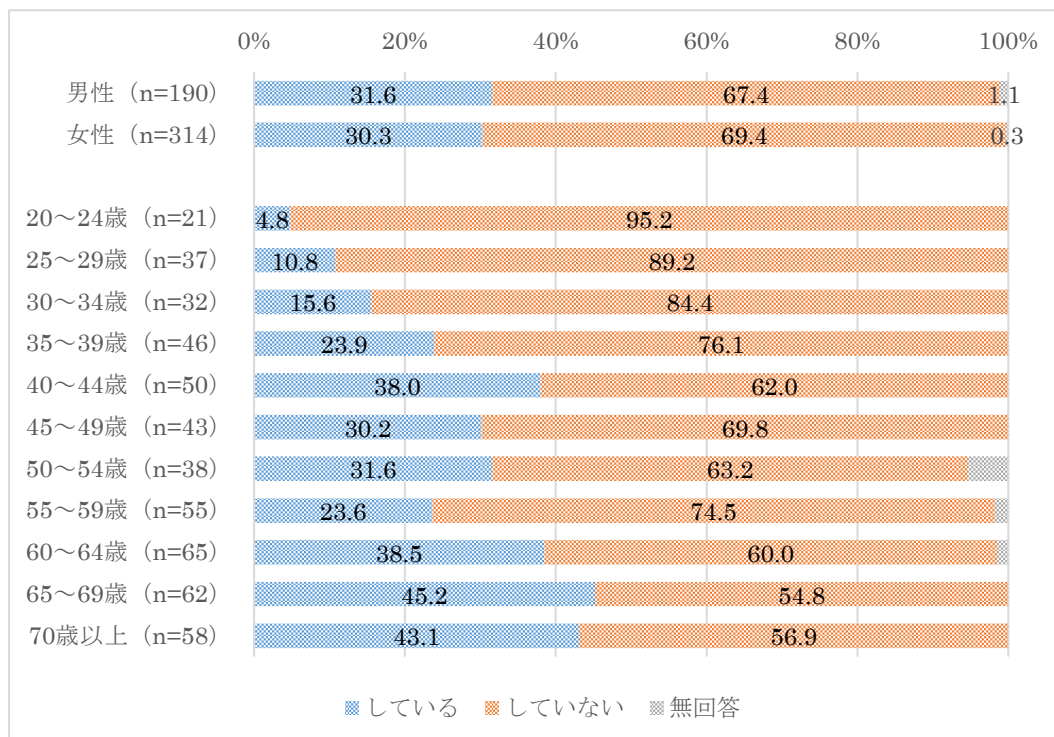
### (3) 地域活動について

問7 あなたは、現在、地域活動（自治会やボランティア、NPO、サークルなど）をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



◆ 地域活動に参加している割合は、概ね3割であった。

【各属性別】

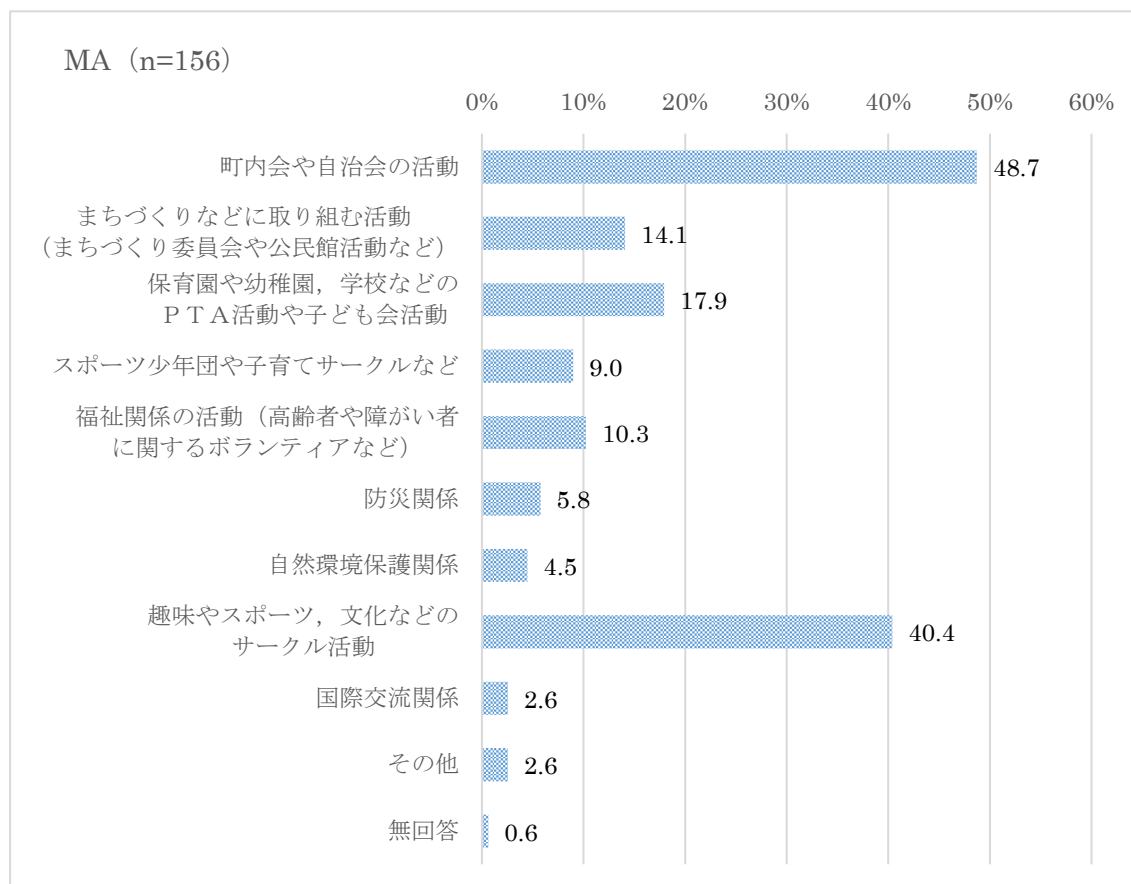


男女別には、いずれもほぼ3割の方が地域活動に参加している。

年齢別に見ると40代以降で概ね3割を超える方が地域活動に参加しており、更に60代以降で参加している方が増えている。20代では概ね1割、30代では2割の方が参加していると答えた。

#### ◇ 地域活動の内容

問8 問7で「1 している」とお答えの方には、どのような地域活動をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



#### 【その他の回答】

- 青少年の健全育成
- 聖書教育ボランティア
- 地域活動ゴミ拾い、草刈り
- その他

◆ 「町内会や自治会の活動」が5割弱で最も高く、次いで「趣味やスポーツ、文化などのサークル活動」が概ね4割であった。

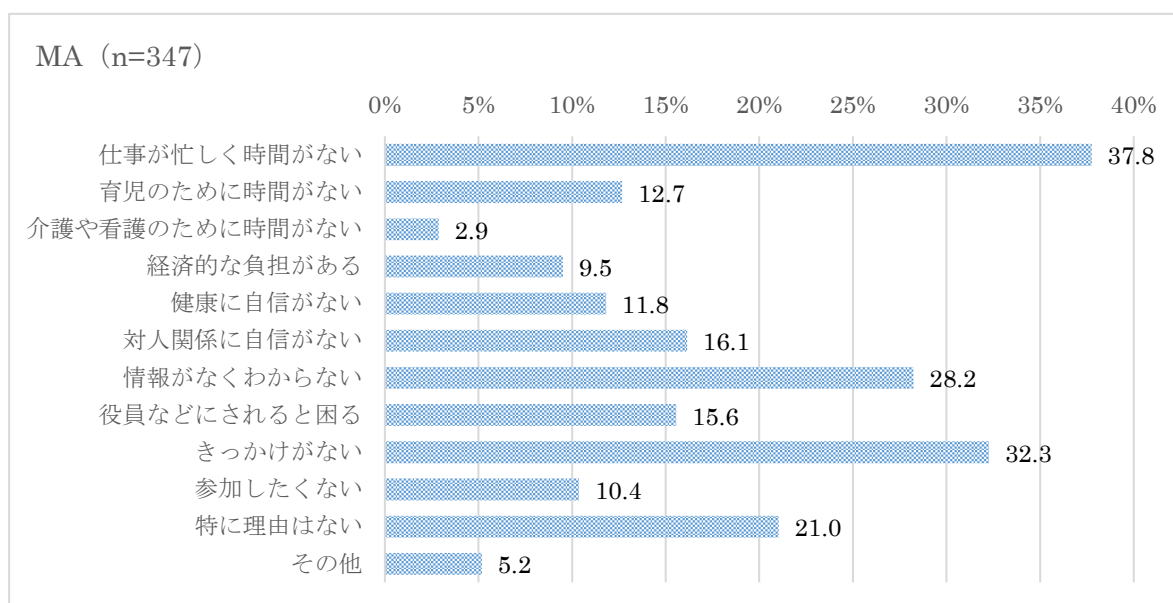
「町内会や自治会の活動」が48.7%で最も高く、次いで「趣味やスポーツ、文化などのサークル活動」(40.4%)であった。

## 【各属性別】

		町内会や自治会の活動	会や公民館活動など	まちづくりなどに取り組み	活動のPTA活動や、子ども会活動	保育園や幼稚園、学校などの活動	サポーター少年団や子育てサークルなど	ボランティアなど	福祉関係の活動（高齢者や障がい者に関するボランティアなど）	防災関係	自然環境保護関係	趣味やスポーツ、文化などのサークル活動	国際交流関係	その他	無回答
性別	男(n=60)	53.3%	8.3%	6.7%	11.7%	10.0%	8.3%	3.3%	41.7%	5.0%	3.3%	0.0%			
	女(n=95)	46.3%	17.9%	25.3%	7.4%	10.5%	4.2%	5.3%	40.0%	1.1%	2.1%	1.1%			
年齢別	20～24歳(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
	25～29歳(n=4)	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	30～34歳(n=5)	40.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	35～39歳(n=11)	45.5%	0.0%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	40～44歳(n=19)	63.2%	5.3%	52.6%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%			
	45～49歳(n=13)	69.2%	23.1%	23.1%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%			
	50～54歳(n=12)	58.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
	55～59歳(n=13)	38.5%	15.4%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%			
	60～64歳(n=25)	48.0%	16.0%	0.0%	8.0%	12.0%	4.0%	4.0%	24.0%	0.0%	12.0%	0.0%			
	65～69歳(n=28)	50.0%	21.4%	3.6%	0.0%	21.4%	3.6%	3.6%	39.3%	0.0%	3.6%	0.0%			
70歳以上(n=25)	36.0%	16.0%	4.0%	0.0%	16.0%	0.0%	8.0%	36.0%	4.0%	0.0%	0.0%				

## ◇ 地域活動に参加しない理由

問9 問7で「2 していない」とお答えの方にうかがいます。地域活動に参加していないのは、どのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



## 【その他の回答】

○ 身体障がいの為、行動に限りがあり。



- 病気療養をしている。 ○ 高齢のため。
- 地域社会と折り合いをつけても、地元優先が根本となり、同じ地域税を見直してほしい。
- 仕事の休みが減ってしまうと体力的に辛いため。
- 自分の時間がなかなか持てない。
- 仕事を優先している。 ○ とにかく仕事に就くことが優先。
- 仕事の勤務が交替で休みが土日とは限らない。
- 妊娠中のため。
- 以前はしていたが、妊娠中のためしていない。仕事が福祉関係に近い。
- 自治会等は、知らない人には声をかけない。(会費は徴収するが) 回覧板のみ。
- 日々多忙。
- 年齢とともに参加しなくなった。主人が単身で週末は家族で過ごす時間にあてたいと思うようになった。
- 単身赴任中のため。
- 必要がない。 ○ 特に参加することに積極的でない。
- 1～2ヶ月に一度輸血をしている。

◆ **地域活動に参加することができない理由では、「仕事が忙しく時間がない」が最も高く4割弱、次いで「きっかけがない」が概ね3割、「情報がなくわからない」が3割弱だった。**

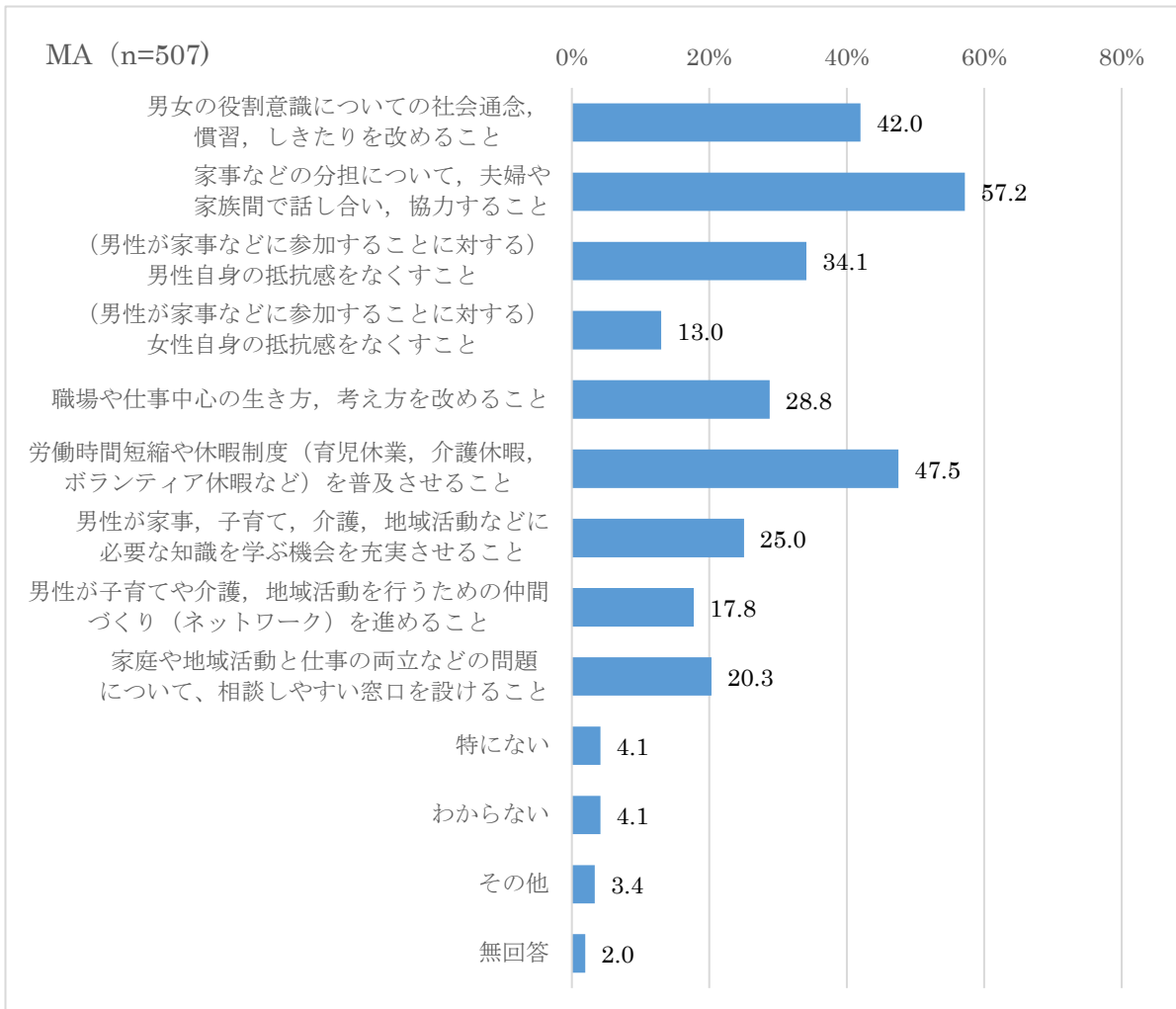
地域活動に参加することができない理由では、「仕事が忙しく時間がない」が最も高く37.8%、次いで「きっかけがない」が32.3%、「情報がなくわからない」が28.2%、「特に理由はない」が21.0%であった。

【各属性別】

		仕事が忙しく時間がない	育児のために時間がない	介護や看護のために時間がない	経済的な負担がある	健康に自信がない	対人関係に自信がない	情報がなくわからない	役員などにされると困る	きっかけがない	参加したくない	特に理由はない	その他
性別	男(n=128)	39.8%	4.7%	2.3%	9.4%	7.8%	10.9%	29.7%	15.6%	32.0%	12.5%	22.7%	8.6%
	女(n=218)	36.7%	17.4%	3.2%	9.6%	14.2%	19.3%	27.5%	15.6%	32.1%	9.2%	20.2%	3.2%
年齢別	20～24歳(n=20)	25.0%	35.0%	0.0%	10.0%	0.0%	15.0%	25.0%	20.0%	35.0%	20.0%	25.0%	5.0%
	25～29歳(n=33)	51.5%	33.3%	3.0%	12.1%	3.0%	9.1%	33.3%	21.2%	42.4%	9.1%	9.1%	6.1%
	30～34歳(n=27)	37.0%	25.9%	0.0%	7.4%	7.4%	18.5%	40.7%	11.1%	37.0%	18.5%	11.1%	3.7%
	35～39歳(n=35)	51.4%	20.0%	8.6%	5.7%	5.7%	11.4%	37.1%	8.6%	34.3%	14.3%	14.3%	2.9%
	40～44歳(n=31)	58.1%	22.6%	0.0%	12.9%	6.5%	19.4%	32.3%	16.1%	32.3%	16.1%	22.6%	6.5%
	45～49歳(n=30)	50.0%	13.3%	0.0%	16.7%	13.3%	16.7%	26.7%	23.3%	33.3%	3.3%	6.7%	10.0%
	50～54歳(n=24)	58.3%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	20.8%	29.2%	8.3%	20.8%	8.3%	16.7%	8.3%
	55～59歳(n=41)	34.1%	2.4%	4.9%	9.8%	14.6%	19.5%	29.3%	22.0%	31.7%	4.9%	26.8%	2.4%
	60～64歳(n=39)	30.8%	0.0%	10.3%	7.7%	12.8%	10.3%	25.6%	15.4%	25.6%	10.3%	25.6%	0.0%
	65～69歳(n=34)	20.6%	0.0%	0.0%	2.9%	14.7%	26.5%	14.7%	8.8%	35.3%	2.9%	29.4%	8.8%
70歳以上(n=33)	3.0%	0.0%	0.0%	6.1%	36.4%	12.1%	18.2%	15.2%	27.3%	12.1%	39.4%	6.1%	

男女別においても「仕事が忙しく時間がない」が最も高く（男性：39.8%，女性 36.7%），次いで「きっかけがない」，「情報がなくわからない」であった。「育児のために時間がない」（男性：4.7%，女性：17.4%），「対人関係に自信がない」（男性 10.9%，女性 19.3%）で男女差が見られた。

**問10 男女がともに、家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。**



**【その他の回答】**

- 周囲とのコミュニケーションを図ることができれば、自然と情報は入ってくると思います。
- 個人の自立心と介護される側の協力を何かの形にしてほしい。
- 職場で有休が取れない。法律に最低5日は取らせるように決定してほしい。
- お互いの役割・仕事をよく知る事。
- 休暇をとりやすくする。
- 経済的余裕を持つこと。
- 今の時代に合った男女の協力がないと子育て、家事などは、女性だけの負担になっていくように感じます。
- 大家族制を進めることが必要と考える。
- 税金優遇。
- 自分でよく考えて、自主的に出来る事からはじめる、行動する。
- 平等に参加する必要はない。
- 保育園、幼稚園、学童保育の充実。

- 物価を下げる。
- もっと産休や育児休業のある職場を増やしてほしい。
- 法律の整備。
- 介護保険の充実。
- 経済的支援が必要。

◆ 男女が共に、家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこととして、「家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること」が概ね6割で最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度（育児休業、介護休暇、ボランティア休暇など）を普及させること」が概ね5割、「男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が概ね4割であった。

男女が共に、家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこととして、「家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること」が57.2%で最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度（育児休業、介護休暇、ボランティア休暇など）を普及させること」（47.5%）、「男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」（42.0%）であった。

【各属性別】

		念男女の役割意識、しきたりについて改めること	家族間での話し合い、協力すること	対（男性が家事自身に抵抗感なくすること）	対（女性が家事自身に抵抗感なくすること）	職場や仕事中心の生き方、考え方を改めること	労働時間短縮や休暇制度（育児休業など）を普及させること	男性が家事、子育て、介護などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間づくり（ネットワーキング）を進めること	問題や地域活動と仕事の両立などについて相談しやすい窓口を設けること	特になし	わからない	その他	無回答
性別	男(n=190)	38.9%	49.5%	25.8%	9.5%	26.3%	45.3%	26.3%	18.9%	21.6%	5.3%	6.3%	3.7%	1.1%
	女(n=314)	44.3%	62.4%	39.5%	15.3%	30.6%	49.4%	24.5%	17.2%	19.7%	3.5%	2.9%	3.2%	2.5%
年齢別	20～24歳(n=21)	42.9%	71.4%	33.3%	14.3%	38.1%	38.1%	42.9%	23.8%	52.4%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
	25～29歳(n=37)	32.4%	73.0%	48.6%	2.7%	32.4%	91.9%	24.3%	24.3%	24.3%	0.0%	2.7%	5.4%	0.0%
	30～34歳(n=32)	31.3%	59.4%	18.8%	6.3%	18.8%	53.1%	12.5%	15.6%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%
	35～39歳(n=46)	50.0%	47.8%	34.8%	8.7%	26.1%	58.7%	19.6%	17.4%	8.7%	4.3%	2.2%	2.2%	0.0%
	40～44歳(n=50)	54.0%	60.0%	32.0%	4.0%	34.0%	56.0%	22.0%	16.0%	14.0%	2.0%	2.0%	10.0%	0.0%
	45～49歳(n=43)	46.5%	53.5%	48.8%	16.3%	32.6%	55.8%	27.9%	30.2%	23.3%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%
	50～54歳(n=38)	31.6%	47.4%	23.7%	10.5%	34.2%	55.3%	18.4%	10.5%	15.8%	2.6%	2.6%	7.9%	0.0%
	55～59歳(n=55)	45.5%	52.7%	50.9%	20.0%	30.9%	36.4%	25.5%	12.7%	14.5%	7.3%	3.6%	1.8%	5.5%
	60～64歳(n=65)	46.2%	58.5%	23.1%	15.4%	24.6%	32.3%	21.5%	18.5%	21.5%	3.1%	6.2%	1.5%	3.1%
	65～69歳(n=62)	35.5%	56.5%	35.5%	21.0%	32.3%	38.7%	35.5%	21.0%	21.0%	4.8%	6.5%	1.6%	3.2%
70歳以上(n=58)	39.7%	58.6%	25.9%	15.5%	19.0%	29.3%	27.6%	10.3%	29.3%	8.6%	6.9%	0.0%	5.2%	

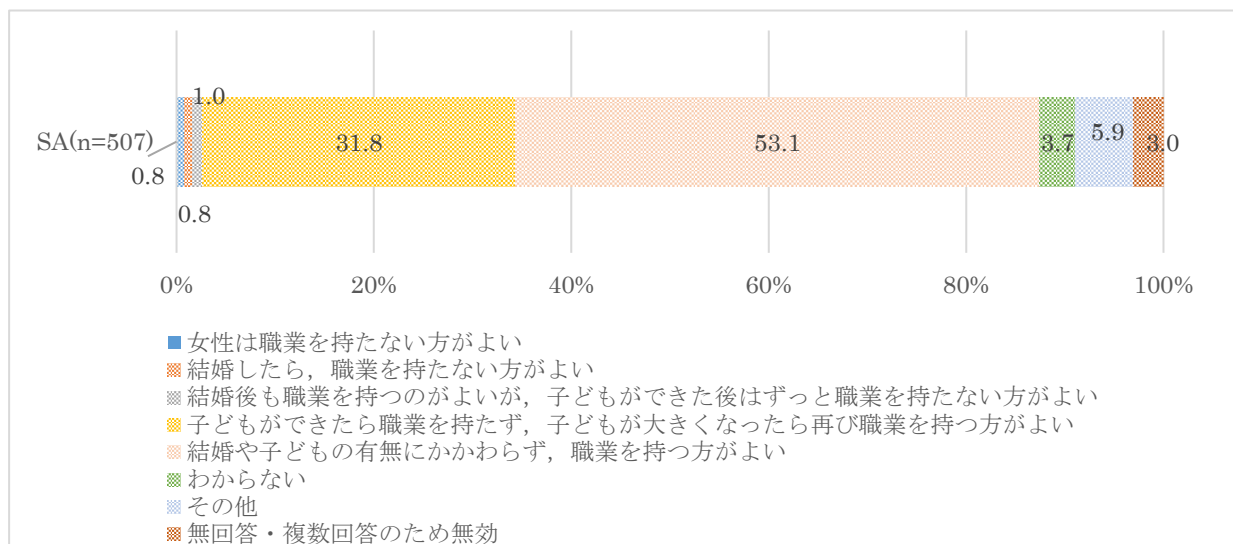
男女別では、男性は「家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること」(49.5%)が最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度(育児休業、介護休暇、ボランティア休暇など)を普及させること」(45.3%)、「男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(38.9%)であった。女性は、「家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること」が62.4%で最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度(育児休業、介護休暇、ボランティア休暇など)を普及させること」(49.4%)、「男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(44.3%)、「(男性が家事などに参加することに対する)男性自身の抵抗感をなくすこと」(39.5%)、「職場や仕事中心の生き方、考え方を改めること」(30.6%)であった。

年齢別では、「労働時間短縮や休暇制度(育児休業、介護休暇、ボランティア休暇など)を普及させること」は、20代後半(91.9%)、30代後半(58.7%)、40代後半(55.8%)、50代前半(55.3%)で最も高く、「家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること」については、どの年代も5割弱を超えた。

## 5 女性の就業、参画に関する意識について

### (1) 女性の就業について

問11 女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【その他の回答】

- 個人の生き方。
- 結婚や子どもの有無にかかわらず職業を持つしかない。子育て世代が充実した生活が送れていますか？その現状が見えていないのでは？
- 人それぞれの意見があるので、一人ひとりが家族と家事について好きなようにしたらいいと思う(家族と相談しながら・・・)。
- 自由にしたらいい。